

10th ANNIVERSARY

発行/(こどもの城)広報部 ☎03-3797-5666 〒150 東京都渋谷区神宮前5-53-1

こどもの城は満10歳になりました。

【こどもの城】は1985年11月1日に東京・渋谷に誕生しました。その日から、みんな一緒に、楽しく、芸術、科学、体育に触れる施設として活動してきました。今年、【こどもの城】は満10歳を迎えることができました。みなさんの温かいご支援のおかげです。今まで利用して下さったみなさんに感謝の心をこめて“10年間ありがとう”の言葉を贈ります。そしてこれからも【こどもの城】をよろしくお祈りします。

【こどもの城】の10年間の足跡が分かる

だれが一番先に上がるかな!

【こどもの城】すごろくゲーム



Game board top row (9-1) with bear illustrations and event descriptions.

ゲームの進め方

じゃんけんや順番を決めたら、さいころを振って出た目の数だけ進む。コマを動かして、たどり着いた欄の文字を読んでみる。指示がある場合それに従おう。何回も繰り返して先にゴールにたどり着いた人が勝ち。なお、使うコマは右上端にあるのでうまく切って使おう。ゴールにはビタリの数でなければ上れない。数がオーバーする場合はオーバー分だけ戻り、再度ゴールを目指すこと。

Game board middle row (10-34) with bear illustrations and event descriptions.

Game board bottom row (33-32) with bear illustrations and event descriptions.

Game board middle row (43-42) with bear illustrations and event descriptions.

Game board middle row (41-40) with bear illustrations and event descriptions.

Game board middle row (39-38) with bear illustrations and event descriptions.

Game board middle row (37-36) with bear illustrations and event descriptions.

Game board middle row (35-34) with bear illustrations and event descriptions.

Game board middle row (33-32) with bear illustrations and event descriptions.

Game board middle row (31-30) with bear illustrations and event descriptions.

Game board middle row (29-28) with bear illustrations and event descriptions.

Game board middle row (27-26) with bear illustrations and event descriptions.

Game board middle row (25-24) with bear illustrations and event descriptions.

Game board middle row (23-22) with bear illustrations and event descriptions.

Game board middle row (21-20) with bear illustrations and event descriptions.



10周年、ありがとう。

1歳1ヶ月の息子は、今でも朝までぐっすり寝ることがありません。夜寝てから2.3時間おきに目をさますのでその度におっぱいを飲ませて寝かしつけています。そろそろ断乳しようと思っ...

トイレトレーニング中ですが全くうまくいきません。何かBestなトレーニング法はないでしょうか? (2歳男児のママより)

うちの子は3歳になった今でもまだ指しゃぶっています。やめさせるよい方法を教えてください。(3歳男児のママより)

4月1日、福武書店はベネッセコーポレーションに社名変更しました。



親身なコミュニケーションで、育児をサポートします。『ベネッセ子育て研究所』

悪い事をした時には子どもの手をたいてしめるのですが、全く効き目がありません(しめる時には、いけな理由もきちんと言っています)。こんどはいい方法はないのでしょうか。(1歳男児のママより)

どうすれば子供にやさしくなれるのか教えてください。やんちゃざかりの娘に、気がつく怒りばかり。このままでは子供の性格までやがんでしまふんじゃないかと心配です。(2歳女児のママより)

離乳食に挑戦しているのですが、なかなかうまくいきません。スープもおもちゃも果汁も麦茶も全くとけず、どうしていいのかわかりません。何かよいアドバイス教えてください。(5ヶ月男児のママより)

21世紀の子どもたちがイキイキと輝いているために、まず子育てをサポートすることから始めたい。そんな私たちベネッセコーポレーションの考えから、『ベネッセ子育て研究所』は生まれました。中でも出産・育児に関するママの不安や悩みに、先輩ママが直接手紙で答える「相談室」では、同じ親の視線でいっしょに悩んだり、共感したり……とホットなコミュニケーションが、「悩んでいるのは私だけじゃないんですわ。」「通りいっぺんのマニュアルじゃないのがいい。」などなどの声が先輩ママから寄せられています。さらに研究所では、これらの貴重な相談内容を医療的アドバイザーとともに真摯に受けとめ、掘り下げた上で今後求められる育児サポートの在り方を社会に提言し、少しでも多くの方の育児をサポートしていきたいと考えています。

イラスト/舟野智子

# 10 10年間、「私たち」はこう考えてきました。

## 開館10周年

【こどもの城】は昭和60年(1985年)11月1日に開館して、今年の11月1日で満10歳の誕生日を迎えます。開館前年の昭和59年には、「ボランティア講習会」の開催(6月~7月)、「こどもの城全国連絡協議会」の設立準備会・設立総会(10月)、先行して始まった講座・クラブの募集など、開館へ向けての準備がスタートしています。各部門の10年の歩みを簡単に振り返ってみました。

### 体育部門

#### 運動することの楽しさ、すばらしさを体験してもらいたいと工夫

体育室と屋上を使った開館記念「スポーツ遊びの記録会」で、活動の幕が切って落とされました。さまざまなスポーツ種目の基本的動きを取り上げ、ゲーム化したもので、運動機能の向上を目指すだけでなく、運動することの楽しさ、すばらしさを体験してもらいたいという、体育部門の姿勢を示したプログラムです。

祝日や学校休みの期間は、「こどもの城」に遊びに来た人が自由に水泳や軽スポーツを楽しめるようになっています。ドッジボールやフライングディスクなど、運動が得意な子どもが得意でない子ども、だれもが楽しめるようにルールをアレンジして、「こどもの城」ならではの「味付け」をしています。幼児から高校生を対象とした水泳や体操の

講座・クラブのほかに「手足の不自由な子のスイミング」(S62~)や、1・2歳の幼児と母親を対象とした「母と子のすくすくランド」(S63~)など、育児支援も考えて、内容を充実させています。

↓【こどもの城】独自のアレンジをした「ウォールサッカー」。ほんとうの「壁バス」を利用します。



### プレイ部門

#### 「遊び」を通して仲間と楽しさを共有できる活動を目指してきました

プレイホール、屋上、パソコンルームなど、「こどもの城」の中で最も広いスペースを担当しています。開館時に設置してあった「室内アスレチック」や「風船ラッシュ」などの大型遊具は、「プレイポート」(S63~)や「わくわくらんど」(H5~)に装いを改めましたが、子どもたちのための「あそび」を考えると、仲間と楽しさを共有できる活動を目指すという考え方は今も昔も同じです。

開館当初は、いろいろな遊具を自由に利用してもらおうと考えていましたが、遊びに来た子ども同士、子どもとスタッフが積極的に触れ合えるスペースにしようと、昭和63年ごろから、プレイホールで平日に、紙芝居や人形劇、ゲーム大会を定期的に行うようになりました。

野外活動は、小学校低学年を対象とした「インドアキャンプ」が、平成元年から「ちびっこ冒険団」と幼児対象の「キャッスルキャンプ」に発展し、平成3年から冬の「ゆきんこ冒険団」も始まりました。

パソコン教室は、体験的なものから、高度な内容の上級コースへと充実しています。

### 造形部門

#### 触覚・視覚・体感覚を使って五感を磨き、心身ともに豊かに

イタリアから、アーティストのブルーノ・ムナリー氏を招き「ブルーノ・ムナリー展」を開館記念プログラムとして開催。子どもの触覚・視覚・体感覚を使って造形感覚を磨き、心身ともに豊かに発展させるという考え方は、後の活動に大きな影響を与えました。

近代美術館の初代教育部長「ビクトル・ダミコ展」を開催するなど、美術教育の先駆者たちの活動を積極的に紹介しています。

「紙と造形」「木と造形」「土と造形」など、造形の隣接領域＝音楽、科学などから行う「造形発見展」「音と造形」「光と造形」など、素材・道具・技法を視覚を通じて体験させる『オープンスタジオ』(「おじいさんの道具箱」など)を行っています。

↓ブルーノ・ムナリー氏を迎えて、開館記念プログラム。青山山形劇場で公開ワークショップを開催。



### 音楽部門

#### さまざまな音楽の世界と出会い、表現する喜びを体験してほしい

和太鼓や三味線などの邦楽、インドネシアの民族音楽ガムランなど、「音楽＝西洋の音楽」の枠を超えた多様な「音楽」の世界と出会い、表現することの喜びを体験し、創造性を豊かにするというのが基本の考え方。講座・クラブや一般来館児・者活動を通してさまざまな試行錯誤をしてきました。

開館当初、ロビー活動は楽器の紹介・展示が中心でしたが、平日には幼児が多いことから、親子と一緒に参加・体験できるものへとプログラムを工夫してきました。

開館前年から活動を始めた「児童合唱団」、「ガムラン」や「三味線」などの邦楽・民俗音楽の講座・クラブも開催しています。

### 保育部門

「子育て」を取り巻く環境は、時代とともに常に変化しています。このような「変化」に対応しながら、新しい保育プログラムの実践を目指して、保育事業と研修事業を2つの柱に活動しています。保育事業は、継続的に異年齢混合のグループ保育を行う「幼児グループ」、保育の日時を選択できる「保育クラブ」と、母と子が一緒に参加する「母子教室」の3つ。「母子教室」は、平成6年から父親も対象にした「親子教室」へと装いを改めました。

中心となる小児保健クリニックは、心と体の両面を相談できるところとして知られてきています。さまざまな専門家が協力して診療・相談に当たっています。「健康スポーツ教室(太りすぎクラス)」「マタニティスイミング」(S62~)などの講座のほかに、若いお母さんのための現代版「井戸端会議」「赤ちゃんサロン」(H3~)も開催しています。

## インタビュー 出会い、発見の10年

開館以来、ずっと【こどもの城】と一緒に成長した皆さんに、今までの10年について語ってもらいました。

#### 松井健司さん (22歳・大学生)

松井さんは、ボランティアとして活動中の大学生。「こどもの城」の活動に初めて参加したのは、小学校5年生のとき、開館前年の夏休みに行われた第1回のジュニア・アウトドア・スクール。「すごくいっぱいリーダーがいて、めんどろをみてもらった。おもしろかったのだけは覚えてますヨ」と松井さん。冬の第1回ジュニア・スキースクールにも参加しました。

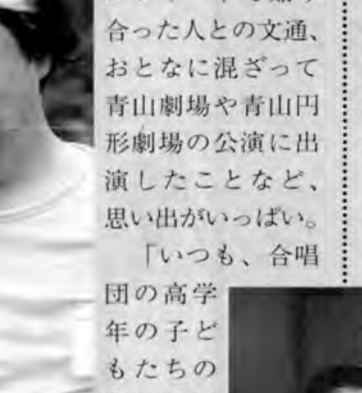
↓こんなに成長しました



#### 岩間祥子さん (17歳・高校生)

「友だちと会うのが楽しくて、毎回楽しみで……」と、小学校1年生のときを振り返る、岩間さんは、今、高校2年生。開館の年の4月から始まったこどもの城児童合唱団の最初のメンバー。現在は、混声合唱団の一員です。

↓合唱団の夏の合宿(S60)



#### 俣野紀美子さん (18歳・短大生)

小学生の時、新潟から東京に引っ越してきた俣野さんは、今では短大の1年生。小学校4年生のころ、水泳講座に入りました。スポーツ一家で、弟は水泳講座、お父さんはD.H.C.の会員。「水泳講座は厳しかったけど楽しかった。スポーツ合宿のときに、みんなでカレーライスを作ったのが楽しい思い出です」

↓水泳講座のスナップ



↓第1回ジュニアアウトドアスクールは【こどもの城】のスタッフ

↓ジュニアアウトドアスクールで描いたストーンペンティング

「いろいろな人に会えるじゃないですか。合唱団で長い間一緒にやっている人と会えてよかったと思う。同い年の人は2人、年上の人は3・4人。私たちが一番年下だったんですよ」

### AV部門

#### 「みる」と「つくる」の両面から映像に親しみ、映像を知る活動

10,000タイトルを超えるビデオ・ソフトを自由に選んで見ることが出来るビデオの図書館「AVライブラリー」と、「映像」という新しい表現・コミュニケーションの「道具」を知るためのビデオ活動の2つを中心に「みる」と「つくる」の側面から、映像に親しみ、映像を知る活動をしています。

録した独自のソフトがあり、10年間で300タイトルを超える作品が制作され、視聴できます。また、平成4年には世界的に高い評価を得ているカナダ国立映画制作庁の短編アニメーションを集めた「武蔵行雄記念文庫」が創設され、「こどもの城映画劇場」で定期的に上映。現在は103作品を収蔵しています。

ビデオ・カメラを使ったワークショップ「ビデオであそぼう」、映画発明以前の視覚玩具を取り上げた「アニメおもちゃであそぼう」が平成元年から始まり、現在の「不思議な映像実験室」に引き継がれています。

↓外国のアニメーション作家を招きワークショップを開催。いろいろな角度から映像を取り上げます。



### 劇場部門

青山劇場では、開館5周年記念公演日本のミュージカル「龍の子太郎」(H2)、開館10周年記念公演「イーハトーボの音楽劇 銀河鉄道の子」(H7)の公演のほかに、日本の若手舞踊手たちに発表の場を与えた「青山バレエフェスティバル」を昭和61年から毎年8月に開催。今年の「10周年記念ガラ公演」には、世界

### その他の部門

体育・プレイ・造形・音楽・AVの「こども活動エリア」を担当する部門のほかに、「こどもの城」を円滑に運営するために、さまざまな部門があります。全館のプログラムを調整したり、「こどもの城」全体で取り組む大型の行事の企画・運営を担当する企画部門、「こどもの城」の活動を支えるボランティア

の養成とコーディネイトを担当する研修教養部門、「こどもの城」と「こどもの城」を取り巻く多くの人々を結び活動(PR=Public Relation)を担当する広報部門、世界各国の児童福祉・文化活動施設との交流を図る国際交流部門、研修室・ホテル・カフェテラス・コピーラウンジ、売店、駐車場などの利用者サービス部門などがあります。